

事業計画書 (支援事業)

(1) 補助事業者について

商店街の正式名称(〇〇商店街振興組合、△△商店街協同組合等)を記載してください。
※定款・規約等に記載されている正式名称を記載すること。

【商店街組織】

名称	〇〇商店街振興組合		代表者	役 職：理事長 氏 名：〇〇 〇〇	
所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地		担当者	役 職：事務局長 氏 名：〇〇 〇〇	
法人番号 ※国税庁が指定した番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		担当者連絡先	電話：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇 F A X：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇 E-m a i l：〇〇〇@〇〇.〇〇	
組合員数 (加入者数等)	〇〇名	商店街を構成する 店舗数	〇〇店舗	商店街内の 空き店舗数	〇〇店舗
設立年月日	〇〇年 〇月 〇日	中小指針の適用	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	中小会計要領の適用	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
商店街の概況 (特徴、立地、店舗 構成、来街者の概 況、取組状況、商店 街が抱える課題等)	<p>〇〇商店街は〇〇駅から〇m・徒歩〇分に位置する、〇〇市の玄関口ともいえる中心的な商店街である。商店街は飲食店〇店舗、物販店〇店舗(日用雑貨品店〇店舗、薬局〇店舗、服飾店〇店舗)、サービス店〇店舗(マッサージ店〇店舗、ネイル店〇店舗)等、計〇〇店舗で構成されており、創業〇〇年の和菓子屋等も残るなど、昔ながらの地域住民密着型の商店街である。</p> <p>来街者の多くは〇〇であり、〇〇〇〇を〇〇〇である。また、駅の近くに位置することから、平日には通勤・通学者によりサラリーマンや学生等も多く訪れているが、学校・仕事が休みになる土日祝日には人通りが途絶えてしまう傾向にあり、休日の来街者確保が課題となっている。</p> <p>現在、〇〇商店街では四季に応じて様々なイベントを実施しており、夏には「〇〇商店街夏祭り」、冬には「〇〇商店街年末祭」等を開催しているほか、まちゼミ等についても積極的に取り組んでおり、各イベント開催時には多くの方々を訪れるが、恒常的な来街者増にはつながっていない状況にある。</p>				
意欲ある若手リーダー、青年部、女性部等の活動	女性部はこれまでも〇〇〇や〇〇〇などの活動をしており、独自で〇〇〇を開催するなど商店街活動への積極的な参画がある。今回の〇〇〇も女性部が中心となつて開催することで、〇〇〇の効果があると考え。				

国税庁が指定した13桁の法人番号を記載してください。(法人の場合のみ)
(法人番号公表サイト(国税庁) : <http://www.houjin-bangou.nta.go.jp/>)

中小指針、中小会計要領の適用有無について、該当するものを〇で囲んでください。
なお、適用の有無は、本事業の採否に影響ありません。

中小指針:会計専門家が役員に入っている会計参与設置会社が拠ることが適当とされているように、一定の水準を保った会計処理
中小会計要領:中小指針に比べて簡便な会計処理をすることが適当と考えられる中小企業が利用することを想定した会計処理
(ご参考: <http://www.chusho.meti.go.jp/zaimu/youryou/index.htm>)

商店街の特徴、立地状況、店舗構成、来街者の概況や商店街活動の取組状況、現在商店街が抱えている課題等について具体的に記載してください。

【民間事業者】※連携体を構成して事業を実施する場合は記載のこと

名称	特定非営利活動法人〇〇		代表者	役 職：取締役 氏 名：〇〇 〇〇	
所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地		担当者	役 職：企画担当 氏 名：〇〇 〇〇	
法人番号 ※国税庁が指定した番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		担当者連絡先	電話：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇 F A X：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇 E-m a i l：〇〇〇@〇〇.〇〇	
資本の額 又は出資の総額	〇〇〇万円	従業員数	〇〇名	主たる業種	〇〇業
設立年月日	〇〇年 〇月 〇日	中小指針の適用	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	中小会計要領の適用	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
活動状況 (当該地域のまちづくりやコミュニティ活動への参画状況)	〇〇商店街に拠点を構え、〇〇商店街が実施している「夜間の商店街見守り事業」の事務局機能を担っているほか、半年に1回のペースでまちゼミを開催。その他、〇〇商店街の定例会(月に1回)にも出席し、意見交換等を実施したり、イベント事業の開催においても企画段階から携わり、当日の人的配置等に協力している。				

国税庁が指定した13桁の法人番号を記載してください。

(記載上の注意)
(商店街組織、民間事業者がそれぞれ複数になる場合は、適宜記載欄を追加してください)

連携体として申請する場合、民間事業者がこれまで当該地域のまちづくりやコミュニティ活動へどのように参画してきたかについて具体的に記載してください。

事業計画書（支援事業）

③事業実施効果

事業実施による効果	<p>〇〇事業の実施により、商店街に憩いの空間が整備され、通行量の増加、回遊性の向上が見込まれる。また、これまで休日に来訪のなかった〇〇駅利用者が商店街を訪れるようになると考えている。施設整備だけでなく、そこを拠点とした〇〇商店街オリジナル商店街の普及により、各個店においても商品のラインナップを見直す等新たな来街者需要を取り込むべく取組をおこなうこととしており、売上高の増加も見込まれる。</p>
-----------	---

売上高の把握方法については、原則、商店街等を構成する半数以上の店舗の当該1年間の売上高の総計としてください。また、目標数値は、売上高の実測値(〇〇円)を記載してください。

地域ニーズの充足を測る指標として、任意の目標数値を設定してください。(例: アンケート調査による満足度調査結果等)

その他については、必須ではありませんが、実施する事業の特性に応じて、例えば施設を整備する場合には、当該施設の利用者数等について目標数値を設定してください。ただし、「外国人対応」に係る事業を実施する場合は「外国人観光客数」について必ず設定することになります。

		歩行者通行量	売上高	地域ニーズ充足	その他の指標	
		(単位: 人/日)	(単位: 万円/年)	(例: 〇〇満足度指数)	(事業特性に応じ任意に設定)	
		※同一月内における平日2日間の平均値を記入すること	※当該年度1年間の総計を記入すること	〇〇について、〇〇と感じている人の割合	コミュニティ施設利用者数	
目標数値	事業実施前測定方法等	<調査日時> ①平成〇〇年〇月〇日(〇〇時~〇〇時) ②平成〇〇年〇月〇日(〇〇時~〇〇時)	平成〇〇年〇月〇〇店舗へヒアリング調査(〇〇年度分売上)	<調査日時> 平成〇〇年〇月〇日 調査対象: 〇〇人 回答者数: 〇〇人	整備前のため計測不能	
	事業実施前	数値	〇〇人/日(平均)	〇〇万円/年	〇〇%	〇人/年
	平成30年度	目標数値	〇〇人/日(平均)	〇〇万円/年	〇〇%	〇〇人/年
	平成31年度	目標数値	〇〇人/日(平均)	〇〇万円/年	〇〇%	〇〇人/年
	平成32年度	目標数値	〇〇人/日(平均)	〇〇万円/年	〇〇%	〇〇人/年
	平成33年度	目標数値	〇〇人/日(平均)	〇〇万円/年	〇〇%	〇〇人/年
	平成34年度	目標数値	〇〇人/日(平均)	〇〇万円/年	〇〇%	〇〇人/年

歩行者通行量の測定については、イベント実施時等ではない平常時の商店街の利用時間に行うこととし、同一月内における平日2日間の平均値としてください。報告にあたっては、同様の手法(測定時間、測定場所等)を用いてください。

目標数値の根拠・検証等	歩行者通行量	<p>【目標数値の根拠】 本商店街の歩行者通行量は平成〇〇年から〇〇年にかけて〇〇%減少しており、平成〇〇年の消費動向調査によると地元購買率も〇〇%低下している。しかし、本事業で整備する〇〇の主な対象者と見込まれている当市〇〇地区の〇〇世代の人口は、平成〇〇年から〇〇年にかけて〇〇%増加している。今回実施した〇〇調査においては、〇〇世代から〇〇〇に対する要望が多くあり、〇〇%程度が利用すると想定されている。従って、来街者については、人口増加率、来街者の世代割合及び利用意向の割合から、〇〇×〇〇%×〇〇%となり、年間〇〇%の増加が見込まれる。〇〇世代に加えて、それ以外の世代の潜在的な〇〇も存在していると推定されるため、1日あたり〇〇人の増加を見込み、年間〇〇%の増加を見込む。なお、平成〇〇年度は施設オープンが〇〇月予定であり、年間での事業効果としては期間が短いことから、〇年度の歩行者通行量は今年度と横ばいの目標とする。翌年度以降は当事業の効果が数字に反映されると見込み、年間〇〇%の増加を目標値とする。</p> <p>【事業効果の検証方法】 評価委員会を設置し、事業効果の検証を行う。補助事業の効果が十分に得られない場合には、〇〇することにより事業効果の増大を図る。</p>
	売上高	<p>【目標数値の根拠】 平成〇〇年度~平成〇〇年度の商業統計では、年間販売額は平成〇〇年に〇〇円、平成〇〇年に〇〇円、平成〇〇年に〇〇円と減少が続いている。同様に、本商店街の年間売上額も〇〇%と減少しているが、本事業実施および〇〇〇等の商店街の自主取組により新たな来街者が見込まれ、さらに各個店が店舗の魅力を高める工夫をすることで、来街者〇〇人のうち〇〇%程度は購買行動につながると想定されるため、〇〇%の売上増加が期待できる。</p> <p>【事業効果の検証方法】 評価委員会を設置し、事業効果の検証を行う。補助事業の効果が十分に得られない場合には、〇〇することにより事業効果の増大を図る。</p>
	地域ニーズ充足	<p>【目標数値の根拠】 〇〇〇調査によると、現在、商店街の〇〇〇に対する〇〇満足度は〇〇%であったところ、本事業で〇〇〇に取組み、〇〇〇等を活用して積極的に周知していくことで商店街における〇〇の認知度を高めて利用者増加につなげる。歩行者通行量の増加を〇〇%と見込んでいることから、〇〇%の来街者数増加のうち〇〇%の来街者が、商店街への〇〇〇に対する満足度を向上させるとすると、〇〇×〇〇%×〇〇%と現状の満足度数よりも〇〇%改善すると見込まれることから、毎年〇〇%の改善を目標値とし、平成〇〇年度は〇〇%を目標値とする。</p> <p>【事業効果の検証方法】 評価委員会を設置し、事業効果の検証を行う。補助事業の効果が十分に得られない場合には、〇〇することにより事業効果の増大を図る。</p>
	その他	

事業計画書（支援事業）

④効果の継続性

補助事業の効果を継続させる工夫

本事業で整備したコミュニティ施設については、今後〇〇や〇〇等としても活用していく計画である。また、来年度以降は自主事業により新たな商店街オリジナル商品を開発し、〇〇商店街の魅力向上を図っていくこととしており、それに合わせたイベント等の開催を随時実施していくこととしている。〇〇商工会議所や地元大学の〇〇大学、その他地場企業等とも連携体制を構築し、〇〇商店街活性化について引き続き活動していく予定である。

・地域で自立的に継続実施しうる事業という当該補助事業の要件と照らし合わせ、補助事業の効果に継続性を持たせるための取組を具体的に記載してください。
 ～その他の例～
 (例1)施設利用を促進、維持するため、補助事業以外の自主財源によるイベントを〇年間〇月と〇月に定期的を実施することとしており、利用者には利用時に商店街の実施している〇〇ポイントのポイントを〇〇ポイント付与することとしている。
 (例2)関与団体であるNPO法人〇〇の開催する〇〇教室は現在〇〇で実施されており、平均〇〇人／回の参加者があるが、〇〇の整備後は商店街内の〇〇において週に〇回の開催を予定しており、また、イベント時にも〇〇について協力いただくこととしている。

⑤収支計画・自立化計画

【収入見積りの根拠】

本事業による〇〇商店街オリジナル商品「〇〇〇〇〇」の販売により〇〇万円の収入を見込むほか、来年度以降は自主事業において更なるオリジナル商品の開発を計画している。
 「〇〇〇〇〇」による収入見込み（オリジナル商品3タイプを開発・販売予定）
 A（〇〇〇円）×〇〇〇個＝〇〇〇円
 B（〇〇〇円）×〇〇〇個＝〇〇〇円
 C（〇〇〇円）×〇〇〇個＝〇〇〇円

【収支計画】※補助事業期間内及び補助事業終了後5年間の収支計画について具体的に記入すること

※収支計画は以下のとおり。詳細は別添〇参照。

・収入見積りの根拠
 ・収支計画
 （補助事業期間内及び補助事業終了後5年間の収支計画）

	収入	支出	備考
平成29年度	〇,〇〇〇,〇〇〇	〇,〇〇〇,〇〇〇	事業実施年度
平成30年度	〇,〇〇〇,〇〇〇	〇,〇〇〇,〇〇〇	
平成31年度	〇,〇〇〇,〇〇〇	〇,〇〇〇,〇〇〇	
平成32年度	〇,〇〇〇,〇〇〇	〇,〇〇〇,〇〇〇	
平成33年度	〇,〇〇〇,〇〇〇	〇,〇〇〇,〇〇〇	
平成34年度	〇,〇〇〇,〇〇〇	〇,〇〇〇,〇〇〇	

・補助事業者の経営状況をふまえて、可能な限り具体的な数値をもとに整合性のある収入見積りを記載してください。
 ・収入見積もりに即して、当該事業を実施するにあたっての収支計画を記載してください。
 ・地域で自立的に継続実施しうる事業という当該補助事業の要件と照らし合わせ、補助事業終了後の自立化の計画(スケジュール等)を記載してください。